

和泉浄水池への小水力発電設備の導入について

当企業団は「経営戦略 2020-2029」において、「環境にやさしい水道事業体」をめざす取組として、再生可能エネルギーの活用を推進し、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

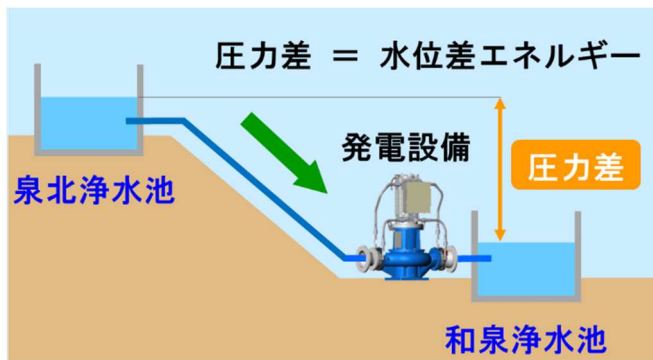
今回、これらの取組の推進と民間事業者への「場所貸し」による公有財産の有効利用を図ることを目的に、令和4年7月12日に小水力発電設備を導入しました。

1 小水力発電設備の概要について

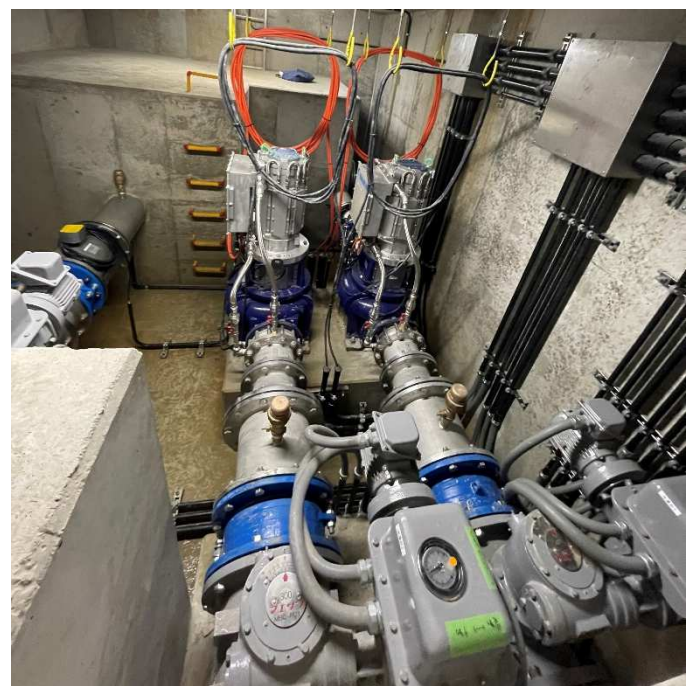
- ・ 泉北浄水池と和泉浄水池間の水位差エネルギーを利用して発電します。
- ・ 事業者は、公募により決定しました。
- ・ 発電量（見込み）：約 44 万 kWh/年（一般家庭約 90 軒分）
- ・ 二酸化炭素削減量（見込み）：約 160t/年

○ 設備仕様等

水車	型式	縦型インラインポンプ 逆転水車
	最大落差	26 m
	最大流量	0.29 m ³ /s
発電機	型式	永久磁石同期発電機
	電圧・最大出力	200 V・50 kW
	同期速度	1720 min ⁻¹



発電設備 位置図



和泉浄水池 小水力発電設備

2 民間事業者への「場所貸し」とは

- ・ 民間事業者が発電設備を設置する場所を有償で20年間貸し出し、設備の設置から維持管理に係る費用を民間事業者が全額負担して設備を導入するものです。
- ・ 民間事業者は、発電した電力を全量売電して収益を得ます。その収益の一部は、当企業団に還元されます。
- ・ 当企業団は、費用負担なく収益を得ながら、未利用エネルギーの有効活用や環境負荷の削減に寄与することができます。

